

# 労働条件に関する協約改訂交渉

## 2/25 第1回「乗務員勤務制度」で行う!

**組合** 出退勤システムの退勤時の打刻について、  
運転・車掌職場の箇所によってバラバラである、統一指導を!

本来の「あるべき姿」は、**会社**  
退勤時間には点呼は終了していると指導はしている。

### < 組合 >

### < 会社 >

#### 【乗務員勤務の予備は32条の2の扱いとすること】

- 職場では交番組(32条の2)と予備勤務(40条)の扱いで混乱している。全ての勤務を32条の2とすること。
- 運用はどうか、待機といいつつも、休日の穴埋めで行路指定されている。本来の趣旨とは違う。

- 32条の2はむやみに変更しない。業務の性質上、不測の事態に備えるため40条で予備勤務者を配置して対応している。
- 引き続き状況の把握はしていく。

#### 【ワークライフバランスに基づいた勤務運用を求める】

- 制度が発足したH4当時とは働く環境が違う、画一的ではなく実態に即した対応を!

- 制度運用の範囲内で知恵の出しあいである。ノリシロはあると考える、バランスを良くしていきたい。

#### 【食事と睡眠は重要であり改善を求める】

- 各支社でも議論しているが乗務員勤務制度が「壁」。稠密線区では着発30分で、実質は20分くらいしかなく飲み込んでいる状態!

- 意見を聞きながら直すものは直す。

#### 【車掌の連続乗務には懸念を感じる】

- ある支社では3時間の連続乗務が、人間の集中力には限界もある。

- 支社との意見交換の際には状況の把握をしたい。

#### 【東京駅乗務員詰所について】

- 上野駅の詰所活用も含めた行路組み換えなど検討を!

- 意見を頂き改善に努めてきた。行路の組み方の関係があり全体の中で見ていきたい。